

令和5(2023)年

2月16日(木)~4月16日(日)

特別展

龍馬の師

勝海舟 生誕二百年展

Master of
Ryoma Sakamoto



今にては
日本第一の人物

勝麟太郎殿という人に
弟子になり

龍馬



坂本龍馬子来る

京師の事を聞く

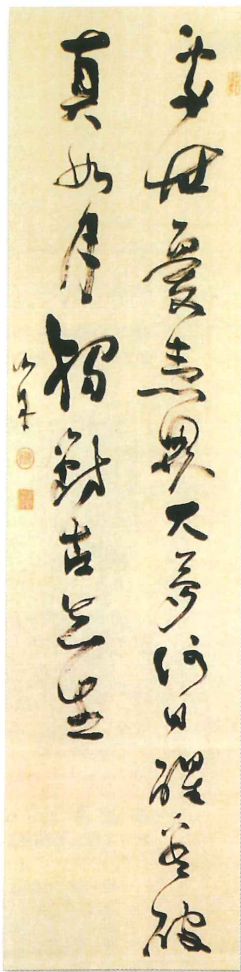
「海舟日記」

●勝海舟(大正四年撮影の複製)

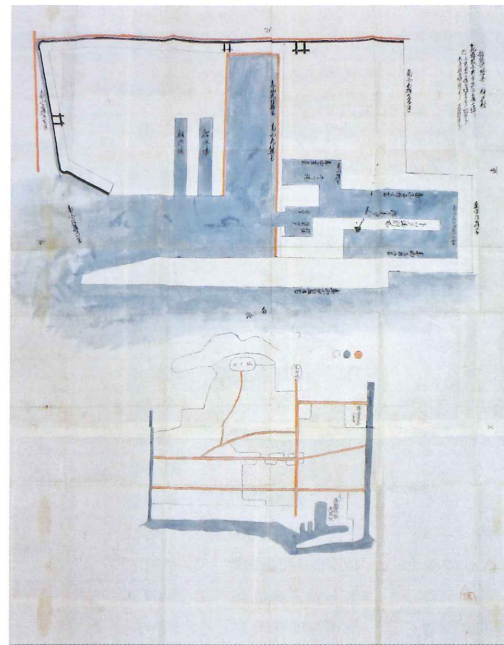


鈴木勇次郎画

●海舟らが初めて太平洋横断した「威臨丸難航の図」(横浜開港資料館蔵)

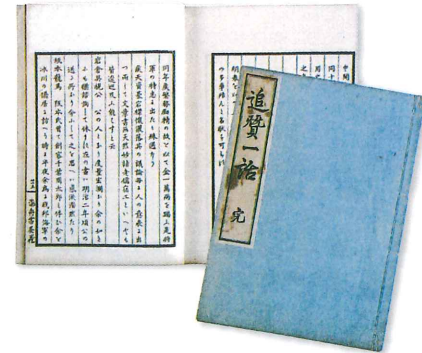


西洋化に浮かれる当節を憂い、真実を希求する思いを詠む ●勝海舟書/館蔵



海舟指導の下、龍馬も関わった神戸海軍操練所の敷地図

●神戸村操練所絵図/琴平海洋博物館蔵



海舟がまとめた人物評の中に
龍馬も登場する

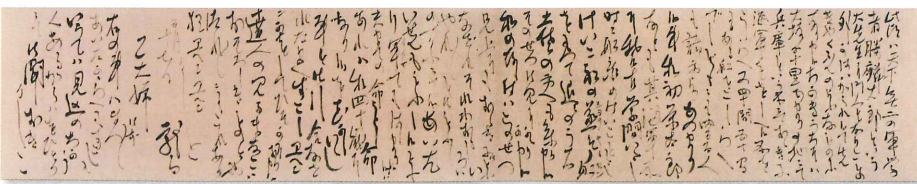
●「追賛一話」勝海舟 明治23年/館蔵



フランス・ルフォショー製の銃

海舟の護衛もした以蔵が持っていたと伝わる

●岡田以蔵のピストル(伝)/岡田家



通称「エヘンの手紙」海舟の弟子になった龍馬の喜びが伝わる

●龍馬書簡姉乙女宛文久3年5月17日(複製)/原本は宮内庁三の丸尚蔵館蔵

出品全品リスト 2 (展示会場：常設展示室の一部)

資料名	時代	所蔵	原資料所蔵	形状
楠木正成・正行親子「桜井の別れ」	江戸末期	弘松家・当館寄託		掛軸
『村上義光 図』赤子画/男彦彦四郎(思孝)賛	江戸後期	個人		掛軸
神戸村操練所絵図	明治期	琴平海洋博物館		捲り
岡田以蔵のピストル(伝)	19世紀後半	個人		銃
勝海舟書	明治期	高知県立坂本龍馬記念館		掛軸
坂本龍馬書簡・乙女宛(複製)	文久3年3月20日	高知県立坂本龍馬記念館	京都国立博物館	卷子
坂本龍馬書簡・乙女宛(複製)	文久3年5月17日	高知県立坂本龍馬記念館	宮内庁三の丸尚蔵館	卷子
坂本龍馬書簡・乙女宛(複製)	文久3年6月29日	高知県立坂本龍馬記念館	京都国立博物館	卷子
坂本龍馬書簡・乙女宛(複製)	元治元年6月28日	高知県立坂本龍馬記念館	高知県立高知城歴史博物館	掛軸
坂本龍馬詠草二 和歌(複製)	文久3年ごろか	高知県立坂本龍馬記念館	京都国立博物館	掛軸
「追賛一話」勝海舟	明治23年	高知県立坂本龍馬記念館		和綴本

関連企画

記念講演会

「海舟・龍馬の海防論の礎—伊勢国松阪の竹川竹斎と松浦武四郎」

講師 松阪市松浦武四郎記念館長 山本 命氏

日時: 令和5年3月4日(土) 13:30~15:00 会場: 高知県立坂本龍馬記念館 新館1階ホール

定員: 50人(要申込・先着順)/無料 ※電話、ファックス、メール、HPお問い合わせフォームにてお申し込みください

学芸員による展示解説

日時: ●令和5年3月4日(土) 11:00~

●令和5年3月25日(土) 14:00~

申込不要(直接企画展示室へお越しください)

無料(要観覧料)

主催/高知県立坂本龍馬記念館(公益財団法人高知県文化財団)

後援/高知新聞社・朝日新聞高知総局・毎日新聞高知支局・読売新聞高知支局・共同通信社高知支局・時事通信社高知支局・NHK高知放送局・RKC高知放送・KUTVテレビ高知・KSS高知さんさんテレビ・エフエム高知

高知県立坂本龍馬記念館
The Sakamoto Ryoma Memorial Museum

〒781-0262 高知市浦戸城山830 TEL.088-841-0001 FAX.088-841-0015
HP▶https://ryoma-kinenkan.jp/ e-mail▶ryoma@ryoma-kinenkan.jp

龍馬の師



Master of
Ryoma Sakamoto

勝海舟 生誕二百年展

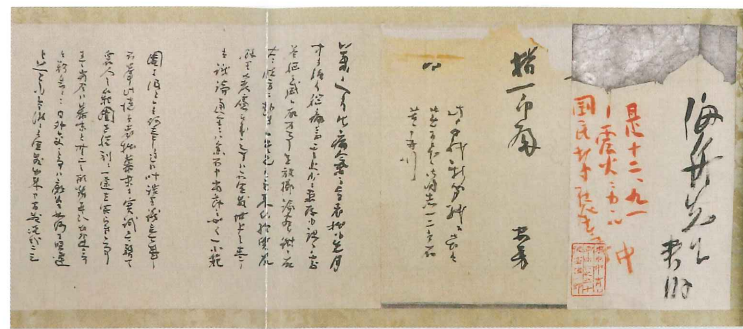


江戸城を明け渡した帰りの勝海舟
●「海舟江戸開城図」(展示は複製) / 東京都江戸東京博物館蔵

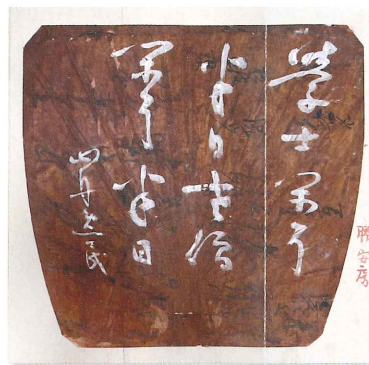
土佐を脱藩した坂本龍馬は幕臣・勝海舟と出会い、師と仰ぎ人生の指針を定めた。龍馬は救免後まもなく、家族に「日本第一の人物勝麟太郎殿の弟子」「天下無二の軍学者勝麟太郎という大先生の門人」になったと手紙を書く。その様子は力強く、喜びにあふれている。幕臣でありながら諸国浪人らとも交わり、日本のために動いた勝海舟。

「毎日毎日以前から思い描いていたことに精を出している」。つまり龍馬は海舟門下で、海軍についてのことに動んでいた。わずか2年の勝との交わりで、日本という国の在り方や海援隊海軍化の構想の基礎を培ったのである。

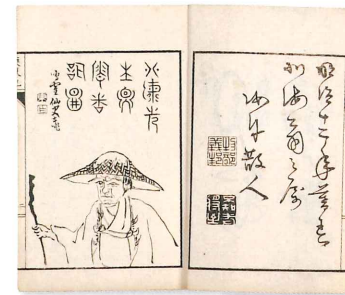
龍馬に大きな教示を与えた海舟の考え方や動き、龍馬との関わりを探り、その人物像を考察する。



晩年の海舟と交流した徳富蘇峰に宛てた海舟の手紙
●勝海舟書簡 徳富蘇峰宛 明治29年3月17日 / 大田区立山王草堂記念館蔵



国指定 重要文化財
海舟と交流のあった松浦武四郎が集めた「洪洞扇集」より
●勝海舟揮毫洪洞扇 / 松浦武四郎記念館蔵



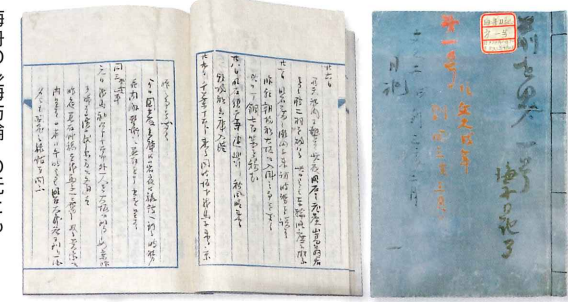
国指定 重要文化財
武四郎の旅日記に海舟が揮毫したもの
●「庚辰遊記」 勝海舟題字「烟霞行者」
明治12年暮春 / 松浦武四郎記念館蔵



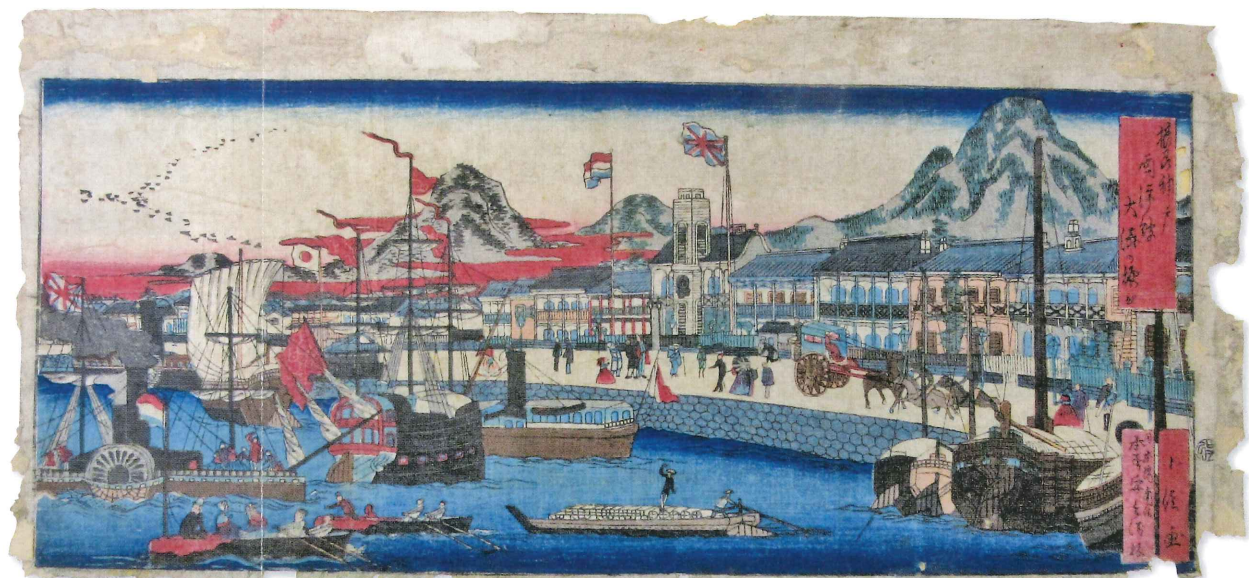
●護国後論 竹川竹斎著 射和文庫蔵
いずれも 三重県指定有形文化財



●護国論 竹川竹斎著 嘉永7年 射和文庫蔵



龍馬のことが初めて記された海舟の日記
●「海舟日記」1巻 文久2年12月29日条 / 東京都江戸東京博物館蔵



開港後の神戸の賑わいを描いた錦絵 ●「摂州神戸西洋館大湊の賑」 / 琴平海洋博物館蔵

出品全品リスト 1 (展示会場：企画展示室)

資料名	時代	所蔵	形状	指定	展示入替
「ドゥーフ・ハルマ」ドゥーフ直筆初稿蘭和辞書	1816年	高知県立高知手前高等学校 高知県立坂本龍馬記念館寄託	和綴本(洋書)		
ベリ-日本遠征記	1856年	高知県立坂本龍馬記念館	洋書		
勝海舟書簡(肖像写真付)と竹川竹斎自書	安政7年	射和文庫	掛軸(合装)	三重県有形文化財	
勝海舟書簡竹口信義宛	嘉永6年12月5日付				
萬延元年勝麟太郎物部義邦君航海日記(写本)附)勝海舟乙卯建白手稿(海舟自筆)	万延元年	射和文庫	和綴本	三重県有形文化財	
『護国論』竹川竹斎著	嘉永6年6月	射和文庫	和綴本	三重県有形文化財	
『護国後論』竹川竹斎著	嘉永7年7月	射和文庫	和綴本	三重県有形文化財	
勝海舟書簡集(竹川竹斎宛)	江戸後期~明治期	射和文庫	卷子	三重県有形文化財	
「万延元年渡米之記」勝海舟(写本)	江戸末期	高知県立坂本龍馬記念館	和綴本		
坂本龍馬書簡三吉慎蔵宛(複製)	慶応2年8月16日	高知県立坂本龍馬記念館	掛軸		
坂本龍馬書簡渡辺昇宛	慶応2年9月18日か	大村市歴史資料館	掛軸		
咸臨丸模型(1/50)	令和元年	個人	船模型		
「大日本國沿海略圖」勝海舟序	慶応3年	神戸大学海事博物館	畳み物		
勝海舟著「亡友帖」	明治2年刊	神戸大学附属図書館	折本		
海上安全万代寿(錦絵)	文久3年7月	琴平海洋博物館	捲り		
大坂安治川口(錦絵)	元治元年	琴平海洋博物館	捲り		
「両国花火の納涼」豊原国周(錦絵)	明治初期	琴平海洋博物館	捲り		
「摂州神戸西洋館大湊の賑」長谷川小信(錦絵)	明治初期	琴平海洋博物館	捲り		
神戸村絵図	明治期	琴平海洋博物館	捲り		
「海舟日記」1巻	文久2年12月29日条	東京都江戸東京博物館	和綴本		頁交代
「海舟日記」3巻	元治元年6月24日条	東京都江戸東京博物館	和綴本		頁交代
「海舟日記」4巻	元治元年8月23日条	東京都江戸東京博物館	和綴本		頁交代
江戸城明渡の帰途(勝海舟江戸開城図)複製		東京都江戸東京博物館	油彩画		
咸臨丸で中濱万次郎が使用した葎山笠	万延元年頃	個人	折畳		
中濱万次郎作・ローマ字俳句	江戸後期	個人	扇面		
勝海舟書(為中濱東一郎)	明治期	個人	掛軸		
咸臨丸難航の図 鈴藤勇次郎画(石版画)複製	1920年	横浜開港資料館	捲り		前半
メ-ア島米海軍造船所図(石版画)	1860年	横浜開港資料館	捲り		前半
敵君の友勝海舟翁の書	明治期	横浜開港資料館	掛軸		前半
『船と装備の知識への手引書』(蘭語)海舟印 Handleiding tot de kennis van het schip en deszelfs tuig : ten dienste van jonge zeelieden / door J. C. Pilaar.	1838年	横浜開港資料館	洋書		前半
『オランダ軍便覧』(蘭語)海舟印 Militair zakboekje ten dienste van het Nedelandsche leger : doch mee bijzonder van het wapen der artillerie.	1839年	横浜開港資料館	洋書		前半
「船舶用蒸気機関に関する知識の手引書」(蘭語)海舟・海軍印 Handleiding tot de kennis van het scheeps- stoomwerktuig / door H. Huijgens	1847年	横浜開港資料館	洋書		前半
『軍船の戦闘準備に関する説明書』海軍印 Instructions in relation to the preparation of vessels of war for battle : to the duties of officers and others when at quarters : and to ordnance and ordnance stores.	1852年	横浜開港資料館	洋書		前半
『オランダ語の音声理論』(蘭語)海軍・海舟印 Nederlandsche spraakleer : klankleer, woordvorming, aard en verbuiging der woorden : ten gebruike bij inrichtingen van hooger onderwijs / door W. G. Brill	1854年	横浜開港資料館	洋書		前半
咸臨丸難航の図 鈴藤勇次郎画・由來說明入(石版画)複製	1938年	横浜開港資料館	捲り		後半
木村摂津遺墨(サンフランシスコ漢詩文)	江戸末期	横浜開港資料館	掛軸		後半
木村芥舟宛福澤諭吉書簡軸	江戸末期~明治期	横浜開港資料館	掛軸		後半
『新米国実用航海術概要』勝小鹿 署名 The New American practical navigator / by Nathaniel Bowditch.	1868年	横浜開港資料館	洋書		後半
『米国海軍及び海兵隊の士官候補者名簿』K 勝署名 Register of commissioned and warrant officers of the United States Navy and Marine Corps. 1877	1877年	横浜開港資料館	洋書		後半
勝海舟揮毫洪洞扇(松浦武四郎蒐集)	明治初期	松浦武四郎記念館	折帖	国重文	
『庚辰遊記』 / 勝海舟題字「烟霞行者」	明治12年暮春	松浦武四郎記念館	和綴本	国重文	
勝海舟書簡 徳富蘇峰宛	明治29年3月17日	大田区立山王草堂記念館	卷子		
勝海舟短冊	明治29年	大田区立山王草堂記念館	短冊		